

東日本大震災の教訓から得た課題

- ◇災害対策本部機能の充実
- ◇大規模災害に対応した備蓄品の拡充
- ◇長期避難生活に対応した避難所の確保
- ◇津波に対する避難誘導対策
- ◇情報通信手段の確保
- ◇地域防災力の向上と防災教育の充実

長崎市における防災対策として取り組む事項

1. 現地災害対策本部機能の充実
非常用発電機の整備
2. 災害備蓄品の拡充
食料・飲料水、毛布、衛生用品
3. 避難所機能の充実
地域避難所の制度化、屋内テント及び間仕切りユニット、公設避難所機能の充実・強化、民間避難所機能の充実・強化
4. 津波警戒・避難の構築
標高マップ作成、津波ハザードマップの作成・配布
5. 防災情報の伝達・収集機能の拡充
防災行政無線の増設、防災ラジオの貸与、防災ラジオ購入にかかる情報提供、衛生携帯電話の整備
6. 地域防災力の充実・強化
自主防災組織の結成促進と活性化、市民への防災意識の啓発、防災教育の実施
7. 地域防災計画の見直し
災害対策本部機能の確保、情報収集・伝達の確保、津波避難誘導、物資の備蓄・調達・輸送、その他

防災ラジオ貸与(500台)されます

私は、平成15年に長崎市議会議員になってから、地域の皆さんの「安全・安心」の情報提供であります防災行政無線の整備について「議会での一般質問・委員会」などで、市役所からの放送が「聞こえない地域」「聞こえにくい地域」への対応について質疑を行い、無線の拡大やスピーカーの向きの調整を行うなど整備をしていただいていたが、現在の防災無線では、最大限努力をしても限度があるので、聞こえない地域・聞こえにくい地域には「防災ラジオ」を貸与したらどうかとの提案を幾度となく要望してまいりました。

今回、審議されました平成24年度予算で、防災行政無線が聞こえにくい地域のうち、戸数が少ない集落などに屋外スピーカー設置に変えて各戸に防災ラジオを貸与するとともに、地域の防災活動となる自主防災組織などに対して同様に貸与されるようになりました。(購入台数500台)

今年度の対応は一歩前進であります

が、市民への迅速な情報提供は不可欠であり、今後も30年前の「長崎大水害」の教訓を風化させない為にも市民の皆さんと共に「安全で安心して生活できる」長崎市の街づくりを目指してまいります。

○防災無線が聞き取れない時の電話番号
☎0180-999-002

○災害情報の電話番号(火災等の場所の確認)
☎0180-999-001

○救急医療機関の案内(病院の問い合わせ)
☎825-8199

長崎市議会議員



だより 40号

いづわ清隆

平成24年4月 発行責任者: 五輪 清隆 編集責任者: 中山 好文 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032

桜の花も満開に咲きそろう、爽やかな季節となりましたが、皆さまにおかれましては益々ご健勝に、ご活躍のこととお喜び申し上げます。

希望に満ちた旅立ち

毎年3月は市内の小・中・高校の卒業式が行われ、それぞれの卒業式に出席しましたが、同級生との別れの寂しさと共に、希望に満ちた光景は、胸を打たれる光景であります。



西浦上小学校の卒業証書授与式

そのような中で、高等学校の卒業式でいただいた卒業生の進路状況が記載された資料で進学者数と就職者数がありました。昨年は卒業式を迎えた日までに約20%の生徒が決まっていなかった状況でありましたが、今年はほとんどの生徒の進路が内定してまいりました。

まだ進路が決まっていない生徒や保護者は将来への不安を抱えながら複雑な卒業式であったと思います。

卒業生には、まだまだ厳しい時代となっておりますが、行政と連携を図り地場企業への支援強化策や雇用を生むような企業誘致等の取り組みを強く思った卒業式でありました。

東日本大震災から早期の復興を願う

昨年、3月11日の東日本大震災発生から1年が経過しましたが、約34万4千人の被災者が未だに仮設住宅などの避難生活を強いられています。

これまで、多くの方々が被災地の復旧・復興のために続けていますが、被災地に集積されたガレキの山が復興の妨げとなっております。

国は、ガレキの広域処理を進めるため、受け入れ自治体に対する財政支援に加え、災害廃棄物処理特別措置法に基づき、被災地以外の各都道府

がんばっています (1月~3月)



1月 長崎市成人式



1月 新春駅伝大会



1月 消防出初式



3月 地域女性役員交流会



2月 消防殉職者追悼式

ご相談はお気軽に!



長崎市の都1丁目1444-13
自 宅 ☎(844)9599
生活相談室 ☎(861)19885

k.itsuwa

諸課題の解決に努めます

地方議員は「行政に対する監視役」「住民と行政のパイプ役」にとどまらずに、地域の方々と政策の全体像や地域社会全体の政策を策定し行政に対して提言する時代となっておりますので更なる自己研鑽に努めてまいります。

更に、行政や地域の政策課題を改善に努めると共に、市民の代表の名に恥じないよう、諸活動を積極的に行っていく決意です。皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

平成24年度予算、50議案を可決！

総額2,131億円（一般会計予算）

2月議会

長崎市議会平成24年2月定例会は、2月22日（水）に開会し、3月16日（金）に最終本会議が開催され、平成24年度一般会計予算案（約2,131億1,000万円）と50議案が可決・同意し閉会しました。

請願では長崎市職員の服務の宣誓に係る宣言文の改定を求めるもので、法令や上司の職務上の命令に従う義務を規定する地方公務員法の趣旨を反映させて、表現の一部改定を求める内容で、賛成多数で採択しました。

議員提案の意見書では「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を国に求める意見書案を全会一致で可決しました。

また、平成24年度の常任委員会および3特別委員会（市庁舎建設特別委員会、国際観光戦略特別委員会、福祉対策特別委員会）の設置を確認後、委員および正・副委員長を決定しました。

私は、常任委員会は「建設水道委員会」、特別委員会は「福祉対策特別委員会」に所属することになりました。

平成24年度予算の主な内容

- 観光施設整備事業費
 - 稲佐山山頂魅力向上整備 ……5億7,000万円
 - 力向上につなげる。
 - 平成24年度
 - 連絡通路屋根葺替、鉄骨塗装、園路石張舗装改修、LED照明機器設置など
 - 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金 ……8億9,000万円
 - （拡大分）20周年記念事業分3,000万円。
- 長崎ランタンフェスティバル
 - 長崎ランタンフェスティバルが20周年の節目の年を迎えることから、記念事業として中国色豊かな人前結婚式「中華大婚礼」を実施し、長崎のまちに息づく中国文化を発信することによりイベントの魅力アップを図る。



稲佐山山頂のロープウェイ入口通路

ロープウェイ稲佐岳駅舎から山頂駐車場への連絡通路を改修するとともに、既存迂回路の段差解消により利用者の利便性の向上を図り、稲佐山山頂の更なる魅

〈中華大婚礼〉

- ・実施時期 平成25年2月11日
- ・パレード 観光通り〜銅座通り〜湊公園

※パレード終了後、湊公園にて結婚式

● グラバー園施設整備事業費 ……17億1,000万円

グラバー園に設置している「動く歩道」は建築後37年が経過していることから、利用者の長期的な安全性の確保や利便性の向上を図るとともに、維持管理経費の縮減を図るため、1号機お



新地会場のオブジェ

● 防犯行政無線維持管理費 ……4,286万4千円（拡大分）

防犯行政無線が聞こえにくい地域のうち、戸数が少ない集落などには屋外スピーカー設置に替えて各戸に防災ラジオを貸与するとともに、地域の防災活動の中心となる自主防災組織等に対しても同様に貸与する。

● 購入数 500台

● 老朽危険空き家対策費 ……2,222万円

市民生活の安全・安心の確保を目的として実施している老朽危険空き家の除却



グラバー園の「動く歩道」

について、対象区域の拡大を図り、密集市街地の住環境の改善を推進する。



除却前の老朽危険空き家



除却後に「地域の憩いの場」として利用

- 住宅リフォーム緊急支援費
 - ながさき住みよ家リフォーム補助金：1億4,000万円
 - 住宅の質の向上と長寿命化を促進するため、民間住宅のリフォーム工事に対する支援制度を1年間継続する。
 - 助成限度額 10万円
 - 補助率 1/10
- 公園施設整備事業費 ……2億8,800万円
- 高齢者や障がい者などの市民や観光客が、安全に安心して移動できるよう、平和公園祈念像地区において園路広場を整備するとともにエスカレーターを設置す

- 事業期間 平成21年度〜25年度
- 事業内容 上段エスカレーター設置、広場整備
- 事業内容 全体面積 AⅡ約1,300㎡ 園路広場整備、休憩施設整備
- 放課後児童健全保育費 ……4億6,545万5千円
- 保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生に対して、放課後の適切な遊び場や生活の場を提供し健全な育成を図る。
- クラブ数 93クラブ（※H24・1月現在87クラブ）
- 障害児受入費加算補助の新設（2クラブ）など



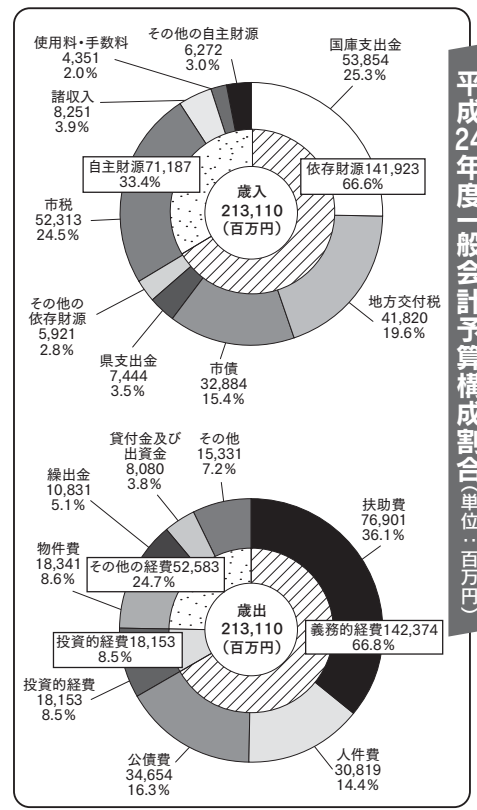
平和公園へのエスカレーターを設置中

- 児童福祉施設整備事業費 ……6,300万円
- 施設の老朽化などの解消を図るために放課後児童クラブ施設を整備する。
- 対象小学校区
 - 女の都小、日見小、蚊焼小、野母崎小（※H24・25）
- 耐震化推進事業費補助金 ……7,500万円
- 入所被爆者の安全を確保するため、「恵の丘長崎原爆ホーム」が実施する耐震補強工事に要する経費の一部を助成する。
- 事業期間 平成24年度〜26年度
- 平成24年度事業費1億5千万円を県・市で1/2ずつ助成
- 基金積立金（市庁舎建設整備基金） ……5億939万6千円
- 将来の市庁舎建設を見据え、建設時に財政負担が大きくなるよう、市庁舎建設整備基金への積み立てを11年ぶりに再開する。
- 新規積立額 5億円
- 街路灯整備事業費（街路灯新設） ……2,100万円
- 安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを推進するため、生活道路や通学路などに街路灯を新設し、また、省エネ化の推進によるCO

〈街路灯設置状況〉H24.3月末現在

	街路灯数(灯)
長崎地区	33,598
香焼地区	483
伊王島地区	280
高島地区	250
野母崎地区	1,222
外海地区	752
三和地区	1,443
琴海地区	1,472
計	39,500

2削減を図るため、老朽化した既存の街路灯をLED街路灯に転換するもの



● 離島航路維持対策費 ……1億475万2千円

離島航路は、本土と離島を結ぶ重要な公共交通機関であり、地域住民の生活に欠かせない移動手段であること、また、離島地域の振興を図る必要があることから、補助要綱に基づき、次の航路の維持・確保のため支援を行う。

- 補助対象離島航路
 - 補助金の負担割合 県・市で1/2ずつ助成
 - 対象年度 H23・10月〜H24・9月



長崎〜伊王島〜高島航路 (高速船: コバルトクイーン)